

真実か神話か？世界オーラルヘルスデーに向けた世界的調査で口腔衛生習慣の真実が明らかに

ジュネーブ（スイス）、2017年3月20日/PR ニュースワイヤー/ --

世界オーラルヘルスデー（World Oral Health Day :

<http://www.worldoralhealthday.org/>）の今日 FDI 世界歯科連盟（FDI

World Dental Federation）は、世界中の人々が口腔衛生にとって良いと信じ

ている習慣が誤りであることを明らかにし、もっと情報を知って行動を起こす

よう促しています。口腔衛生は私たちの健康全般と幸せにとって不可欠であり、

生活のあらゆる側面に影響します。

FDI に代わってユーガヴ（YouGov）が 12 か国で行った調査では、人々が口腔衛生にとって良い習慣だと信じていることと実際の効果には大きな隔たりのあることが明らかになりました。8 か国において、調査対象の 50%以上の人々が毎回のメインの食事の直後に歯を磨くことが大切だと考えていることが分かりました。ブラジル、メキシコ、エジプト、ポーランドがこの誤った習慣を最も信じていました（それぞれ 84%、81%、62%、60%）。FDI は、歯のエナメル質が弱くなるのを防ぐため、最低 30 分待ってから歯を磨くよう勧めています。

FDI 会長のパトリック・ヘスコット博士は、次のように述べました。「これらの調査結果は、知識と実際の良い口腔衛生習慣との間には驚くほどの隔たりがあることを浮き彫りにしています。この世界オーラルヘルスデーに、誰もが自分の口腔衛生を管理するようになり、口腔にとっての良い衛生習慣を身に付け、危険因子を避け、定期歯科検診の受診で自分の口を守れることを知ってほしいと考えています。健康な口があれば、自信を持って、痛みや不快感や病気などなく話し、微笑み、匂いを嗅ぎ、味わい、触れ、噛み、飲み込み、さまざまな

感情を伝えることができるのです。健康な口腔は重要であり、より質の高い生活につながります」

調査対象国の大部分では、歯磨きの後に水で口をすすぐことが大切だと誤解されています。ブラジル、南アフリカ、メキシコ、インド、カナダでこの神話を最も多く実践していました（それぞれ 77%、75%、73%、67%、67%）。実際には、フッ素に触れる時間を最大にするため、歯磨きの後すぐには水ですすぎず、予防効果を最大にすることが推奨されています。

インド、南アフリカ、ブラジル、ポーランドで調査した人口の半数近く（それぞれ 52%、49%、48%、42%）は、炭酸飲料よりはフルーツジュースを飲む方が良い口腔衛生に重要だと感じていました。しかしフルーツジュースは虫歯の原因となる糖分も多いのです。FDI は、健康的でバランスの良い食生活には糖分の多い飲み物の接種を最小限にするよう勧めています。

WOHD（世界オーラルヘルスデー）タスクチームの議長、エドアルド・カヴァレ博士は、「良い口腔衛生習慣を理解し、それを若いときに身に付ければ、高齢になっても最良の口腔衛生を維持し、肉体的苦痛も口腔疾患が引き起こしがちな精神的苦痛もない長寿が保証されます」と述べました。

口腔衛生習慣に関するその他重要な調査結果：

- 調査対象の 77%が年 1 回歯科医の診察を受けるのが良い口腔衛生習慣だと認めていますが、実際にそうしているのはわずか 52%です。
- 回答者のわずか 28%が、適度な飲酒が口腔衛生にとって重要だと考えています。

世界オーラルヘルスデーについて

毎年3月20日の世界オーラルヘルスデー（WOHD）は、口腔疾患の予防・管理について世界的に意識を高めるため、FDI世界歯科連盟が設定しました。

<http://www.worldoralhealthday.org/> ; #WOHD17 #LiveMouthSmart

WOHDグローバルパートナー：ヘンリーシャイン（Henry Schein）、フィリップスソニックケア（Philips Sonicare）、ユニリーバ（Unilever）

調査について

数値は、特に記載のない限りすべてユーガヴ（YouGov Plc）提供。総被験者数は、成人12849人。実地調査は2017年1月20日～31日に行われました。調査はオンラインで実施。数値は加重されており、英国（2090人）、米国（1145人）、オーストラリア（1018人）、ニュージーランド（1055人）、日本（1006人）、カナダ（1002人）各国の18歳以上の全成人を代表しています。ブラジル（1000人）、メキシコ（1006人）、ポーランド（1004人）、南アフリカ（500人）では全国一定地域の18歳以上の全成人を代表、インド（1011人）とエジプト（1012人）では都会の18歳以上の全成人を代表しています。

メディア問合せ

Karley Ura, AXON Communications

kura@axon-com.com | 電話: +44(0)20-3595-2415